

情報通信人材研修

(1)	コース番号	R6-24	
(2)	コース名称	テスト駆動開発（TDD）基礎研修	
(3)	受講料	33,000円（消費税込）	
(4)	達成目標 または育成目的	テストファーストによる追加・変更と、リファクタリングによる設計・改善の 2 つの活動を超短期で繰り返して開発を進めていく手法である TDD。RED、GREEN、REFACTOR の 3 ステップを高速に回すサイクルが TDD の特徴です。軽快・レスポンス性のフィードバックの確保、きれいで動くコードの確保などによる、開発の改善が TDD の目的となっており、本講座で実際の開発で TDD がおこなえるようになることを目的とします。	
(5)	前提知識 または受講対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ Java のプログラミング経験 ・ JUnit の利用経験者 	
(6)	日 程	2024 年 12 月 3 日（火）	1 日間
(7)	時 間	10:00-18:00	7 時間
(8)	会 場	Zoom によるオンライン研修	
(9)	定 員	15 名	
(10)	講 師	氏 名	尾崎 惇史
		所 属	株式会社フルネス
		略 歴	法政大学にて修士（情報科学）、早稲田大学にて博士（スポーツ科学）を取得。IT 企業で音声認識エンジンの研究開発に携わる。スポーツテック事業の会社を立ち上げ、センサとスマートフォンを連動させた IoT システムを開発。Java プログラミング研修講師を経て、現在は株式会社フルネスにて IT 教育に従事。
(11)	内 容	第 1 日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動作するきれいなコード <ol style="list-style-type: none"> 1.1 テスト駆動開発における最終ゴール 1.2 テスト駆動開発におけるよくある勘違い 1.3 動作するきれいなコードを書くには？ 2. テスト駆動開発のサイクル <ol style="list-style-type: none"> 2.1 RED-GREEN-リファクタリング 3. テスト駆動開発での実装例（Java/JUnit） <ol style="list-style-type: none"> 3.1 問題の分割 3.2 テスト～仮実装～三角測量～実装 3.3 歩幅の調整 4. 「テストする」とは <ol style="list-style-type: none"> 4.1 いつテストするのか 4.2 何をテストするのか 4.3 テストデータをどう選ぶか <ol style="list-style-type: none"> 4.3.1 テスト技法 5. 補足 <ol style="list-style-type: none"> 5.1 ドメイン駆動開発（DDD）と TDD の連携による設計 <ol style="list-style-type: none"> 5.1.1 TDD の TODO リストを利用したドメイン分割 5.2 ドキュメントとしてのテストコード 5.3 テストの自動化
(12)	その他（使用機材等）	PC 1 人 1 台 （PC をご希望の方はお貸出させていただきます。 もしご自身の PC を利用の場合には研修環境のご案内をさせていただきます。）	